

オハイオ州 フィンドレー大学 奨学生レポート 3月

「生活」

2月の終わりに中間試験が終わり、いよいよ留学生活が終わりに近づいていることを感じます。まだまだ寒い日が続きますが、雪も解け、春の訪れを感じます。今回はここでの日常生活について紹介したいと思います。

まず、平日は毎日授業があります。一つの授業が週に二日や三日あるため、週末にまとめて宿題をすることが出来ず、毎日授業後は宿題をします。大学内の図書館や、カフェテリア、Alumni Memorial Union（通称AMU）と呼ばれる建物では学生たちが毎日勉強しているため、モチベーションを高めることが出来ます。フィンドレー大学はとても勉強しやすい環境だと思います。皆、平日は勉強に励む一方で、休日のはのんびりと過ごしているようです。私は、冬場は寒く、なかなか外を歩くということは難しかったのですが、雪が解け、歩道が歩きやすくなったので、休日には散歩に出かけるようになり、ダウントウンにもよく行くようになりました。フィンドレー大学は、フィンドレー市のダウントウンのすぐ近くにあります。キャンパス内にある私の家から、歩いて15分ほどでダウントウンに入ります。ダウントウンにはスーパーなどがあるわけではありませんが、こじんまりとしたカフェや市の図書館などがあり、本を読んだりしながら、ゆっくりと過ごすことができます。

普段の食料品や日用品は、大学が週に3日、大きなスーパーやモールにシャトルバスを出しているのので、それに乗って買い物に行くことができます。アメリカでは、一つ一つの商品が大きく、量が多いため、いったいどのように使い切るのだろうと思っていましたが、ハウスメイトたちを見ていると、一度に大量に料理をし、みんなで分け合ったりして、シェアすることを楽しんでいるように感じました。